

デンソー スポットクーラー INSPAC

取扱説明書

型式

10HF-SB1

10HF-SB2

10HR-SB1

10HR-SB2



- このたびは、デンソー スポットクーラーをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
- ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しく安全にご使用ください。
- この取扱説明書には、製品を廃棄する際に必要なフロン回収についても記載していますので、大切に保管してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
- 保証書付
保証書はこの取扱説明書の裏表紙についていますので、お買い上げ日、販売店名などの記入をお確かめください。

目次

必ず確認

安全のために		2
各部の名称		7
ご使用方法		8

知っておきたいこと

日常の点検・保守		14
シーズンイン・シーズンオフの点検・整備		16
修理を依頼される前に		18
保証とサービス		19
長期使用製品安全表示		20
仕様		21
修理・廃棄について		22

かならず
確認

安全のために

この機械を安全に使用していただくために、下記のことを必ずお守りください

●ここに示した注意事項の表示と意味は、次のようになっています。

 警告	誤った取扱いにより、死亡や重傷などの重大な事故に結び付く可能性が大きいもの。
 注意	誤った取扱いにより、傷害を負う可能性、または物的損害の可能性のあるもの。 状況によっては重大な結果に結び付く可能性があるもの。

●絵文中の図記号の意味は、次のようになっています。

	記号は、危険・警告・注意を促す内容があることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容が描かれています。
	記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容が描かれています。
	記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中や近くに具体的な指示内容が描かれています。

<据付上の注意事項>

 警告	
●電気工事(漏電ブレーカの設置、D種接地工事など)はお買い上げの販売店、または電気工事の専門業者に依頼する。 電気工事に不備があると、感電、漏電、火災の原因になります。	 必ず守る
●アース工事を行う。 アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しない。 (アース工事は、電気工事の有資格者に依頼する) アースが不完全な場合は、感電や火災の原因になります。	 アースする
●専用の漏電ブレーカを取付ける。 漏電ブレーカが取付けられていないと感電の原因になります。 お買い上げの販売店、または専門業者にご依頼ください。	 必ず守る
●可燃性ガスや油など危険物を使用したり漏れる恐れがある場所、導電性粉塵や油成分が浮遊している場所、木屑などの発火性粉塵がかかる場所では使用しない。 爆発性粉塵の近くや雰囲気内に設置しない。 爆発や火災の原因になります。	 禁 止
●オプション品は必ず当社指定の製品を使用する。 当社指定外の製品を使用した場合は、水漏れ、感電、火災の原因になります。	 必ず守る
●オプション品の取付けはお買い上げの販売店、または専門業者に依頼する。 取付けに不備があると、水漏れ、感電、火災の原因になります。	 必ず守る

<据付上の注意事項>

 警告	
●冷媒漏れ対策はお買い上げの販売店に相談する。 万一冷媒が漏れて限界濃度を超えると、酸欠事故の原因になります。小部屋に据え付ける場合は、冷媒が漏れても限界濃度を超えないよう対策する必要があります。	 必ず守る

<据付上の注意事項>

 注意	
●雨水のかかる場所、水の飛び散る場所に設置しない。 水が電気部品にかかると絶縁が悪くなり、感電や漏電の原因になることがあります。	 禁止
●火花が飛び散る恐れのある場所への設置には火花よけをする。 火花よけがないとユニット内部に火花が入り、発火の原因になったり、ドレーンパンやドレーンタンクに穴が空き水漏れの原因になることがあります。	 必ず守る
●酸、アルカリ、溶剤、塗料などの有害ガスや腐食性ガスが発生する場所では使用しない。 絶縁が悪くなり、感電や発火の原因になったり、配管が腐食し、冷媒漏れの原因になることがあります。	 禁止
●車両や船舶への搭載など、振動がある場所で使用しない。 冷媒漏れ、水漏れ、故障の原因になったり、機器の移動や転倒によりケガの原因になることがあります。	 禁止

<使用上の注意事項>

 警告	
●長時間冷風を身体に直接当てて冷やし過ぎない。 体調悪化や健康障害の原因になります。	 禁止
●空気の吹き出し口や吸い込み口に指や棒などを入れない。 内部でファンが高速回転しており、ケガの原因になります。	 禁止
●修理の専門業者以外は、分解・修理しない。 水漏れ、感電、漏電、火災、ケガの原因になります。	 禁止
●電源の接続が電源プラグによるものは、定期的にほこりが付着していないか、変形・破損していないか確認し、がたつきがないよう、また斜め差しにならないよう刃の根元まで確実に差し込む。 感電や火災の原因になります。	 必ず守る
●電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みが緩いときは使用しない。 感電、ショート、火災の原因になります。 お買い上げの販売店にご相談のうえ修理を依頼してください。	 禁止

<使用上の注意事項>

 警告	
●電源コードは、途中で接続したり、延長コードの使用、他の電気器具とのタコ足配線をしない。 感電や発熱、火災の原因になります。	 禁 止
●電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、重い物を載せたり、挟み込んだり、巻いたまま・束ねたまま使用しない。 電源コードが破損し、感電や火災の原因になります。	 禁 止
●電源プラグの抜き差しや漏電ブレーカの入り切りで運転や停止をしない。 感電や火災、故障の原因になります。	 禁 止
●改造は絶対にしない。 故障や事故の原因になります。改造による故障は保証期間内でも保証対象外となります。	 禁 止
●濡れた手や油が付いた手でスイッチ操作や電源プラグの脱着、漏電ブレーカの操作をしない。 感電やスイッチ破損の原因になります。	 禁 止
●本体に水など液体をかけない。 感電や火災の原因になります。	 禁 止
●本体内部の洗浄はお買い上げの販売店、または専門業者に依頼する。 故障や水漏れ、発煙、発火、感電の原因になります。	 必ず守る
●異常時(こげ臭いなど)は、すぐに運転を停止し、漏電ブレーカをOFFまたは電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店に相談する。 異常のまま運転を続けると故障や感電、火災などの原因になります。	 必ず守る
●冷媒が漏れたら火気厳禁 使用されている冷媒は安全で、通常漏れることはありませんが、万一、冷媒が室内に漏れ、裸火や300～400℃以上の高温に加熱された金属に接触すると、有毒ガスが発生する原因になります。 燃焼器具などの火気を消して部屋の換気を行い、お買い上げの販売店にご連絡ください。	 禁 止
●可燃性ガス(ヘアスプレーや殺虫剤など)は本体の近くで使用しない。 爆発、火災、発火の原因になります。	 禁 止
●洪水や台風などで本体が水没したときは、すぐに使用を中止し、漏電ブレーカを「切」にするか、電源プラグを抜いて、通電もしない。 そのまま運転や通電をすると、感電、火災、故障などの原因になります。	 必ず守る
●吹き出しダクトやフランジを取付けるときは必ず運転を停止し、漏電ブレーカをOFFまたは電源プラグを抜く。 感電やケガの原因になります。	 必ず守る

<使用上の注意事項>

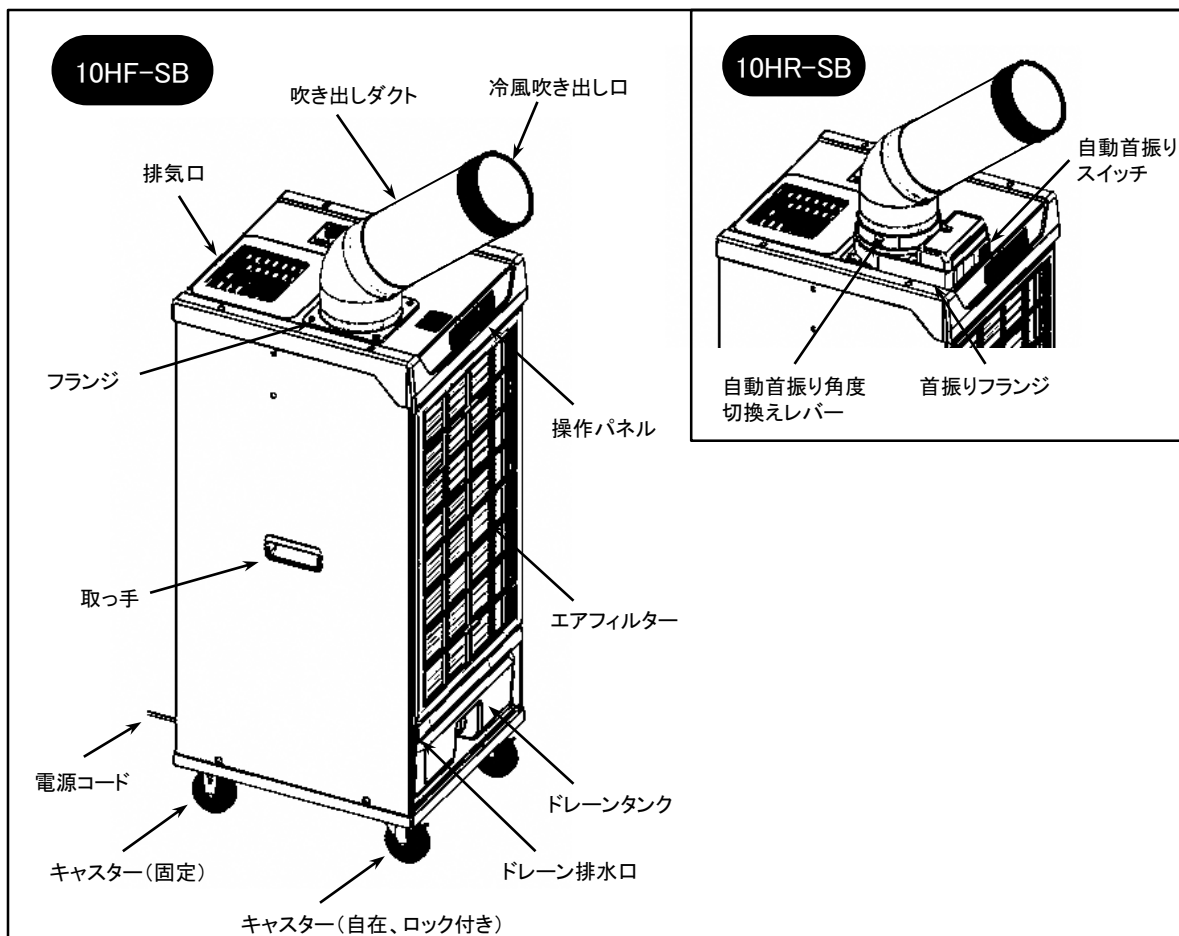
 注意		
●本体からの風が直接あたる所に燃焼器具を置かない。 燃焼器具の不完全燃焼の原因になることがあります。		禁 止
●電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜く。 感電やショートして発火の原因になることがあります。		必ず守る
●清掃・点検・保守をするときは必ず運転を停止し、漏電ブレーカをOFFまたは電源プラグを抜く。 感電やケガの原因になることがあります。		必ず守る
●長期間使用しないときは、漏電ブレーカをOFFにするか、電源プラグを抜く。 ほこりが溜まって発熱、発火の原因になることがあります。		必ず守る
●本体の上に乗ったり、よりかかったり、物を載せたりしない。 落下・転倒などによりケガの原因になることがあります。		禁 止
●本体の上に水の入った容器などを載せたりしない。 水がこぼれたとき、本体内部に浸水して感電の原因になることがあります。		禁 止
●エアフィルターを外したまま使用しない。 熱交換器(フィン)が露出し、ケガの原因になることがあります。		禁 止
●食品・動植物・精密機械等特殊用途に使用する場合は対象物への影響を確認する。 品質低下などの悪影響をおよぼす原因になることがあります。		必ず守る
●本体は凹凸や傾斜面など不安定な場所で使用しない。 転倒によるケガや水漏れ、感電などの原因になることがあります。		禁 止
●本体を移動するときは、傾けない。 内部に溜まっている水が滴下して床や周囲を濡らしたり、転倒によるケガなどの原因になることがあります。		禁 止
●キャスターをロックして使用する。 ロックしないで使用すると移動・転倒によるケガなどの原因になることがあります。		必ず守る
●本体を移動するときは必ず運転を停止し、キャスターのロックを解除して本体部分を押す。 転倒によるケガや水漏れの原因になることがあります。		必ず守る
●ドレーンタンク満水時には必ず水を排水する。 オーバーフローすると本体より水が滴下し、床や周囲を濡らす原因になることがあります。		必ず守る
●吹き出しダクトの方向を変えるときは、ていねいに取り扱う。 ダクトに強い衝撃などを与えると、ダクトの破損や脱落、本体の転倒などによりケガの原因になることがあります。		必ず守る
●吹き出しダクトや外装の汚れを拭くときは、ベンジンやシンナーなど溶剤は使わず、水で湿らせるか中性洗剤をしみ込ませたやわらかい布で拭く。 感電や発火、ひび割れなどの原因になることがあります。		必ず守る

<使用上の注意事項>

 注意		
●ビニール袋を被せたまま屋外日射下に放置しない。 ブロワケースなどが変形する原因になることがあります。		禁 止
●浮遊粉じんの多い場所では使用しない。 粉じんにより、感電や火災、故障の原因になることがあります。		禁 止
●本体の近くにスプレー缶などを置かない。 凝縮器からの温風によりスプレー缶などが爆発する原因になることがあります。		禁 止
●本体の周辺に、物を置いたり、落ち葉をためない。 落ち葉などから侵入した小動物が、内部の電気部品に触れると、故障や発煙、発火の原因になることがあります。		禁 止
●電源は定格電源以外で使用しない。(本体貼り付けの銘板を確認してください) 感電や火災、故障の原因になることがあります。		禁 止
●水など液体がかかるような場所に電源プラグを接続しない。 電源プラグに液体がかかると感電や火災の原因になることがあります。		禁 止
●ペットの冷房用に使用しない。 ペットが本体に尿をかけたり、電源コードをかじったりすると、感電や火災の原因になることがあります。		禁 止
●人手により運搬や持ち上げる際は、腰だけをかがめず膝も曲げて持ち上げるようにする。 腰を痛める原因になることがあります。		必ず守る
●本体を倒したり、強い衝撃を与えたりしない。 転倒によるケガや故障の原因になることがあります。		禁 止

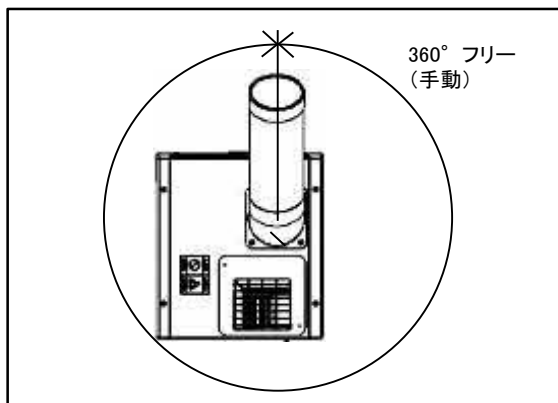
かならず
確認

各部の名称



ダクトの方向調整

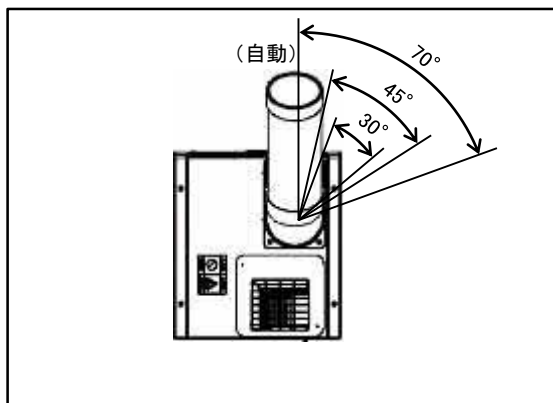
風の吹き出し方向は、本体の向きを変えずにダクトを回すことにより360° フリーに変えられます。



ダクトの自動首振り

(10HR-SB)

自動首振りスイッチ「入」における首振り角度は、30° 45° 70° の3段階に調節できます。



かならず
確認

ご使用方法

吹き出しダクト用フランジの取付け



警告

●吹き出しダクトやフランジを取付けるときは必ず運転を停止し、漏電ブレーカをOFFまたは電源プラグを抜く。感電やケガの原因になります。



必ず守る

■10HF-SBの場合

①本体天面のフランジ用スクリュA(4個)をはずします。

②フランジを本体天面に載せ、スクリュAでフランジ部を固定します。

- ・作業完了まで、フランジが落下しないよう、手で支えてください。
- ・コネクタカバーははずさないでください。はずして使用すると感電の原因になります。

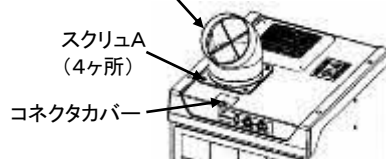
スクリュA
(4ヶ所)



フランジ

スクリュA
(4ヶ所)

コネクタカバー



■10HR-SBの場合

①本体天面のフランジ用スクリュA(4個)とBをはずし、コネクタカバーをはずします。
首振りダクトを使用しない場合には再度使用しますので、なくさないよう保管してください。

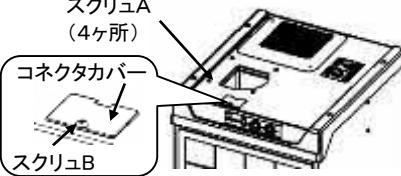
②首振りフランジからスクリュEとモータカバーをはずしてから本体天面に置き、コネクタCとDを確実に接続します。(カチッと音がします)

- ・確実に接続しないと接触不良により機器の故障や発煙発火の原因となります。
- ・作業完了まで、フランジが落下しないように手で支えてください。

スクリュA
(4ヶ所)

コネクタカバー

スクリュB



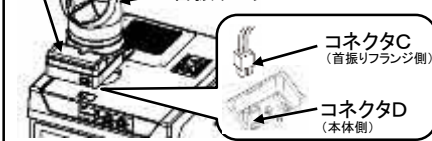
モータカバー

スクリュE

首振りフランジ

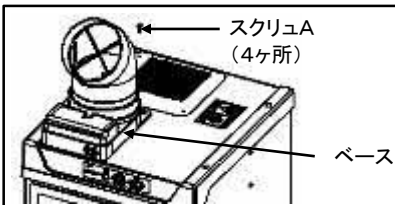
コネクタC
(首振りフランジ側)

コネクタD
(本体側)



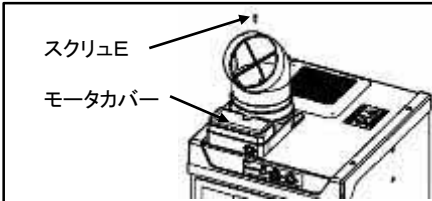
スクリュA
(4ヶ所)

ベース



スクリュE

モータカバー



④首振りスイッチの上方からハーネスの噛み込みがないことを確認し、モータカバーをスクリュEで固定します。

冷風吹き出しダクトの取付けのしかた



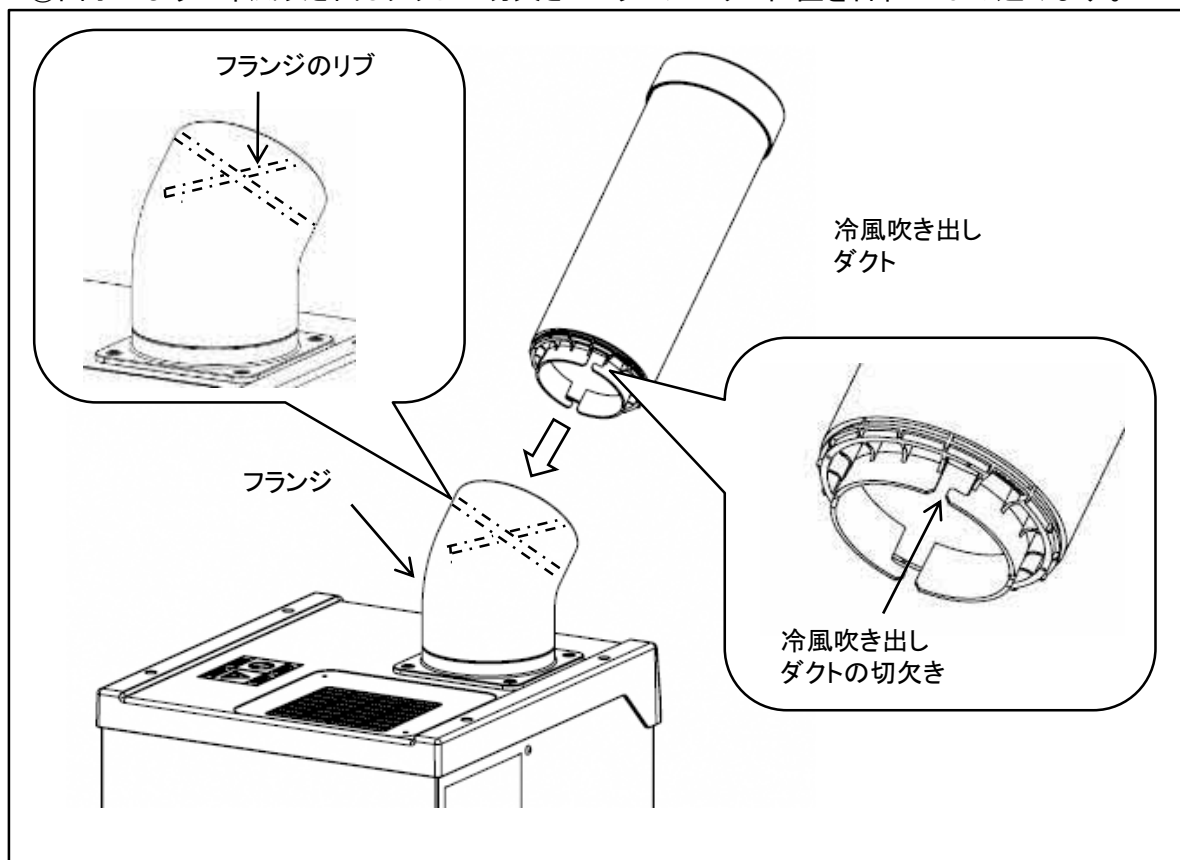
警告

●吹き出しダクトやフランジを取付けるときは必ず運転を停止し、漏電ブレーカをOFFまたは電源プラグを抜く。感電やケガの原因になります。

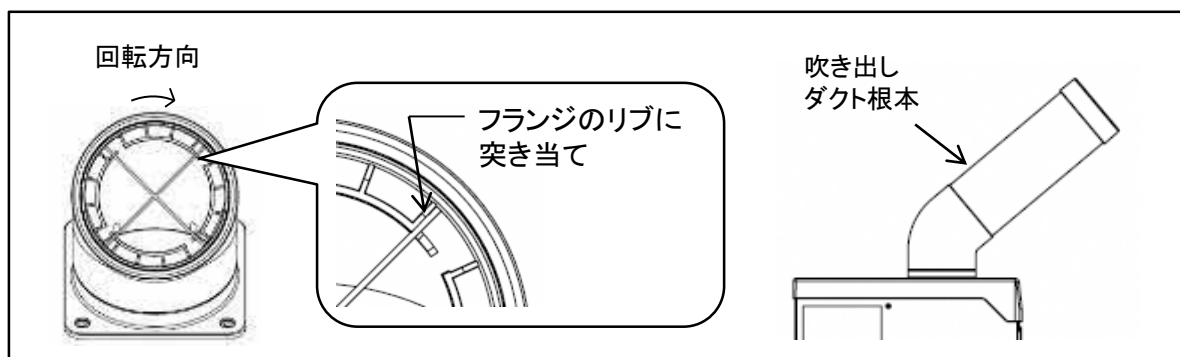


必ず守る

①図示のように冷風吹き出しダクトの切欠きとフランジのリブ位置を合わせはめ込みます。



②吹き出しダクト根本を持ち、吹き出しダクトを図示回転方向に回します。
回した後、吹き出しダクトとフランジのリブが図示位置にあることを確認してください。



・ダクトの脱着や方向を調整するときに過度な力を加えないでください。
フランジやダクトが破損する原因になります。

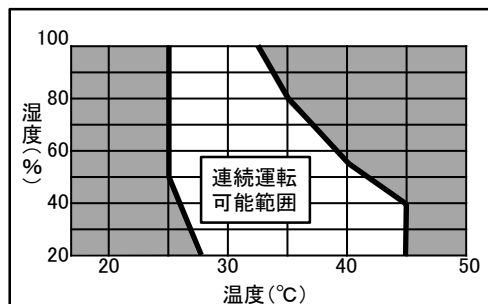
運転の前に

■まず次のことを確認してください。

1) 周囲の温度は連続運転可能な範囲ですか？

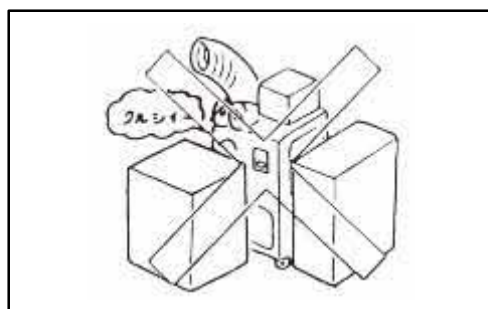
連続運転可能範囲(周囲温度・湿度)
25℃・50%RH～45℃・40%RH

・連続運転可能範囲外で使用されますと、保護装置が働き、異常停止や故障の原因になることがあります。



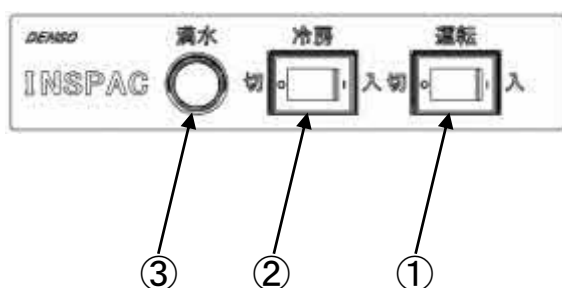
2) 空気の吸い込み口、吹き出し口付近に障害物を置いていませんか？

・吸い込み口からは50cm以上離してください。空気の流れが悪くなり、保護装置が働き、運転を停止したり、冷房能力の低下の原因となります。



3) 締め切った狭い場所では、排熱により室温が上昇しますので窓や扉を開けてご使用ください。

操作パネルについて



①	運転スイッチ	運転・停止を行います。
②	冷房スイッチ	冷房運転・送風運転を切替えます。
③	満水表示ランプ	ドレーンタンクが満水になったら点灯します。

自動首振りスイッチについて

(注) 10HR-SBのみ



④	自動首振りスイッチ	ダクトの自動首振り・停止を切替えます。
⑤	自動首振り角度切換えレバー	ダクトの自動首振り角度を切替えます。

運転のしかた

■運転のしかた

- ①運転スイッチを『入』にすると冷房運転または送風運転を開始します。
- ②運転スイッチを『切』にするとすべての運転が停止します。



- ・ドレーンタンクが満水になると満水表示ランプが点灯し、すべての運転が自動停止します。
- ・再び運転するときは、一度運転スイッチを『切』にして、ドレーンタンクの水を排水してから行ってください。
- ・運転を停止した後に、再び運転をするときは、3分以上経過してから行ってください。すぐに運転をすると、保護装置が作動したり、機器が故障する恐れがあります。
- ・運転中に停電した時は、停電復帰後そのまま運転開始します。



警告

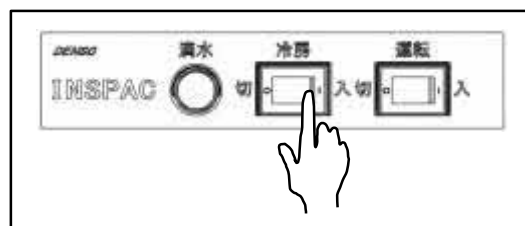
- 長時間冷風を身体に直接当てて冷やし過ぎない。
体調悪化や健康障害の原因になります。



禁止

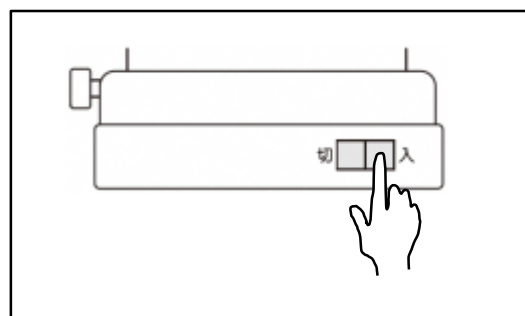
■冷房運転・送風運転の切換えのしかた

- ①冷房スイッチを『入』にすると冷房運転になります。
- ②冷房スイッチを『切』にすると送風運転になります。



■自動首振り運転のしかた(10HR-SBのみ)

- ①自動首振りスイッチを『入』にするとダクトが自動首振り運転を開始します。
- ②自動首振りスイッチを『切』にするとダクトが自動首振り運転を停止します。



警告

- 濡れた手や油が付いた手でスイッチ操作や電源プラグの脱着、漏電ブレーカの操作をしない。
感電やスイッチ破損の原因になります。



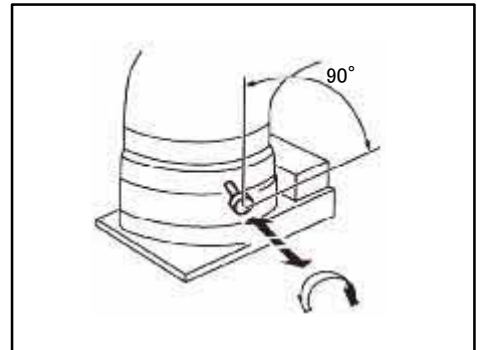
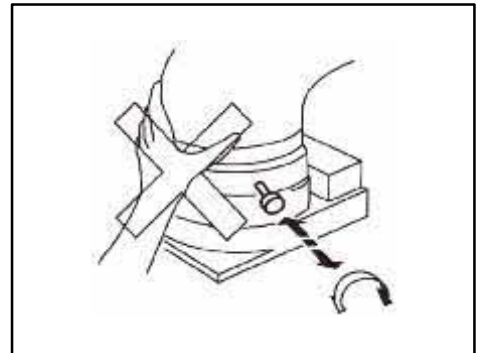
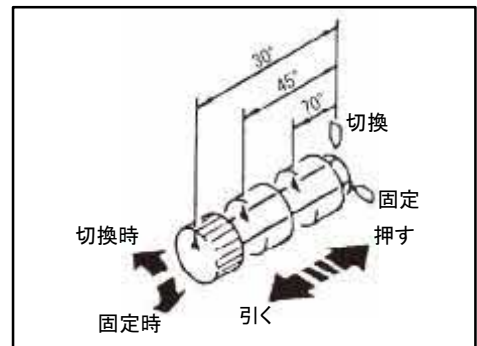
禁止

■首振り角度切換えのしかた(10HR-SBのみ)

- ①首振り角度切換えレバーを『**切換**』側に回し、ロックを解除します。
- ②レバーを押すか引いて『30°』・『45°』または『70°』のお好みの角度に合わせます。
- ③レバーを『**固定**』側に戻してロックします。
レバーをロックしないと、自動首振りしません。

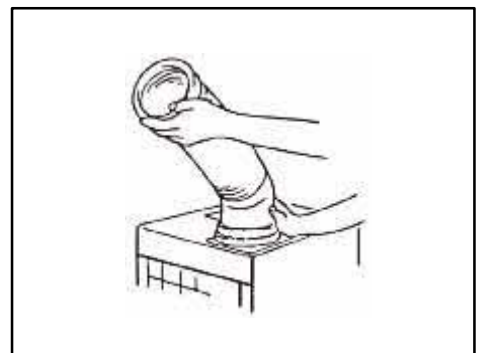
- ・首振り角度切換え時は、必ず首振り運転を停止してから行ってください。
- ・首振り角度切換え時は、ダクトを手で固定しないで、首振り角度切換えレバーのみで操作してください。

- ・首振り角度切換えレバーは90° 以上回さないでください。
無理に回したり、強く引くとレバーが破損します。



■ダクトの角度調整のしかた

- ・ダクトを曲げたり、伸ばしたりする時は、ダクトの根元に力がかからないよう手を添えて丁寧に行ってください。
- ・ダクトをたたいたり、乱暴に動かしたりしないでください。
- ・ダクトが動く範囲に、ダクトの動きを妨げるような障害物を置かないでください。



- ・ダクトを持って本体を引っばったり、持ち上げたりしないでください。
ダクトが破損する原因になります。

排熱ダクトについて

オプションのフランジに排熱ダクト(口径Φ175×長さ4m、現地手配品)を接続し、建物の排気口に接続すると、クーラーの排熱空気を室外に排出できます。

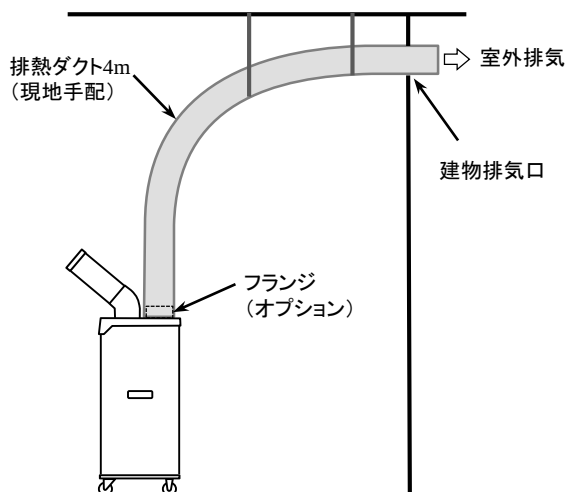
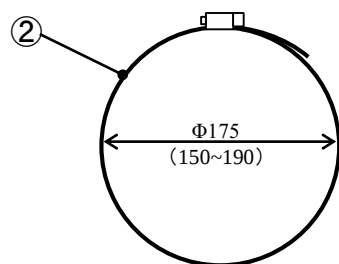
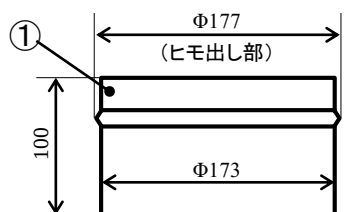
<排熱ダクト施工・使用上の注意事項>

⚠ 注意	排熱ダクトの末端が鋭利な場合は、ケガをしないように事前に養生等の対策をする。 ケガの原因になることがあります。	 必ず守る
	本体を移動する場合は、排熱ダクトを取りはずしてから移動する。 転倒等によるケガや、破損等の原因になることがあります。	 必ず守る
	人が通るところに排熱ダクトを配置しない。 ダクトにつまづいてケガをしたり、転倒等の原因になることがあります。	 禁止

●排熱ダクトの取り付けは、必ずオプションフランジ同梱の取付要領書にしたがってください。

<別手配部品>

品名	品番	備考
フランジ	481170-0500	Φ175ダクト接続用、フランジ①、バンド②、スクリュ2本
排熱ダクト4m	—	Φ175、現地手配品



<排熱ダクト接続時の使用制限>

周囲温度	排熱ダクト長さ	電源周波数	排熱側風量	機外静圧(排熱ダクト設置状態)
40℃以下 ※	4m以下	50Hz地域	9.2 m³/min 以上	90 Pa 以下
		60Hz地域	10.8 m³/min 以上	125 Pa 以下

※: 周囲温度が40℃を超える場所では、別売の排熱ダクト(0.7m)を使用してください。

<排熱ダクト手配時の注意>

- 排熱ダクトは、上記使用制限を満足するダクトを選定してください。
冷えが悪くなったり、連続運転が出来なくなったり、故障したりする原因になることがあります。
- 排熱ダクトは、フランジ①およびバンド②で取り付けが可能なものを選定してください。
フランジ: 円筒部Φ173mm、ヒモ出し部: Φ177mm
バンド: 適用径Φ175mm(Φ150~Φ190mm)

知って
おきたい
こと

日常の点検・保守



注意

●清掃・点検・保守をするときは必ず運転を停止し、漏電ブレーカをOFF
または電源プラグを抜く。
感電やケガの原因になることがあります。



必ず守る

エアフィルターの清掃

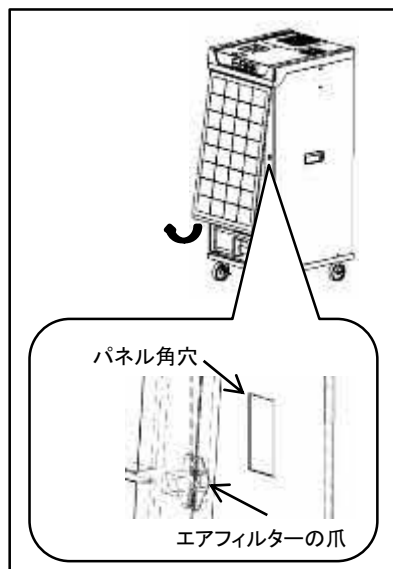
エアフィルターの清掃は、1週間に1回、ほこりの多い環境では2～3日に1回行ってください。
清掃をおこたると、吹き出し風量が減少し、冷房能力が低下します。

エアフィルターの脱着・洗浄のしかた

1. エアフィルターの脱着のしかた

- ・エアフィルターを上を持ち上げ、下側を手前に引き抜きます。
- ・取り付けは逆の手順で行ってください。

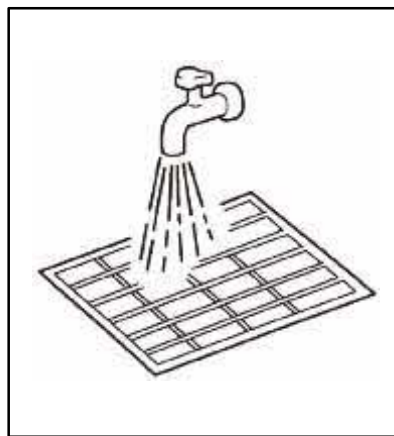
・エアフィルターを外すと熱交換器が露出します。
熱交換器でケガをしないよう注意してください。
・エアフィルターを上を持ち上げてから手前に引かないと
エアフィルターの爪がパネル角穴に引っかかっている為
はずれません。
無理にはずそうとすると、破損のおそれがあります。



2. エアフィルターの洗浄のしかた

- ・エアフィルターのほこりを掃除機で吸いとりか、水またはぬるま湯でよく洗ってください。
汚れがひどい場合には中性洗剤を使用してください。
- ・洗浄したあと清水でよくすすぎ、乾燥後、元どおりに取付けてください。

・エアフィルター洗浄後の水切りの際はエアフィルターを
たたきつけたりしないでください。
エアフィルターが割れることがあります。
・洗浄には、シンナー・トリクレン・ガソリンなど有機溶剤は
使用しないでください。



■エアフィルターについて

使用環境に合わせ、メッシュの異なるフィルタを別売品で用意しています。
お買い上げの販売店にご相談ください。

- やや微塵用フィルター：標準フィルターより細かな塵を吸着します。

外装パネルの清掃

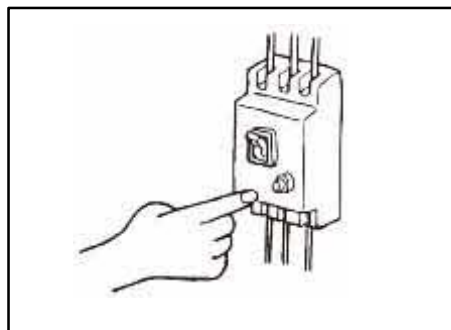
汚れは水で湿らせたやわらかい布で拭いてください。
特に汚れのひどいときは、中性洗剤をしみ込ませた布で
ふいてから、乾いた布でよくふき取ってください。

- ・洗浄には、シンナー・トリクレン・ガソリンなど
有機溶剤は使用しないでください。
- ・アルコール類が熱交換器や冷媒配管に付着
すると腐食により冷媒もれの原因になります
ので注意してください。



漏電ブレーカの作動点検

運転を停止した状態で漏電ブレーカのテストボタンを
1カ月に1回以上押して、正常に作動(入→切)するこ
とを点検してください。



知って
おきたい
こと

シーズンインの点検・整備 シーズンオフ

シーズンインの点検・整備

シーズン中におけるスポットクーラーの冷房能力は、シーズンインの時の点検・整備状況によって大きく影響します。従って、シーズンインの時の点検とそれに伴う整備は、確実にかつ慎重に行ってください。

漏電ブレーカの点検

テストボタンを押し、作動することを確認してください。

エアフィルターの点検

エアフィルターに詰まりがないか点検して、詰まっているようであれば、水またはぬるま湯で洗って汚れを落としてください。エアフィルターの脱着・洗浄方法につきましては「日常の点検・保守」の項を参照してください。

異常音、異常振動の点検

機器から異常音や異常振動が発生していないかどうか点検してください。冷房運転開始時および停止後しばらくの間、流動音（水の流れるような音）の出ることがありますが、これは内部の冷媒が流れる音で、機器の異常ではありません。

ドレン排水口の点検

ドレン排水口につまりがないか点検し、ドレン水がスムーズに流れるようにしてください。

・ドレン排水口から棒などを刺し入ると熱交換器をキズつけ、冷媒もれの原因になることがありますので注意してください。

電気配線システムの点検



電源コード(コード部、プラグ部)および電源プラグ接続コンセント側に損傷がないか、また、アース接続は確実か確認してください。

 警告	●電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、重い物を載せたり、挟み込んだり、巻いたまま・束ねたまま使用しない。 電源コードが破損し、感電や火災の原因になります。	 禁止
	●電源の接続が電源プラグによるものは、定期的にほこりが付着していないか、変形・破損していないか確認し、がたつきがないよう、また斜め差しにならないよう刃の根元まで確実に差し込む。 感電や火災の原因になります。	 必ず守る
	●電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みが緩いときは使用しない。 感電、ショート、火災の原因になります。 お買い上げの販売店にご相談のうえ修理を依頼してください。	 禁止

シーズンオフの点検・整備

晴れた日に送風運転を行い、クーラー本体の内部をよく乾燥させてください。

エアフィルターは、清掃してから元通りに組み付けてください。

ドレーンタンクの水を排水してください。

漏電ブレーカのスイッチを切ってください。

内部にほこりが入らないように、排気口にカバーをしてください。

上記の作業を行い、クーラーを最良の状態でもシーズンまで保つようにしてください。次のシーズンインに備えて、お買い上げの販売店で「定期点検」をお受けになることをお奨めします。

なお、詳しくはお買い上げの販売店へおたずねください。

知って
おきたい
こと

修理を依頼される前に

■クーラーが運転できないとき

電源は入っていますか？



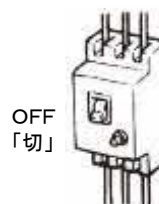
電源を入れてください。



漏電ブレーカーが
作動していませんか？



お買い上げの販売店に
ご連絡ください。



延長コードを
使用していませんか？



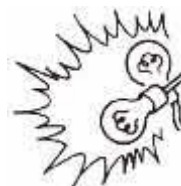
延長コードの使用を
やめてください。

■冷えが悪いとき

近くに熱源が
ありませんか？



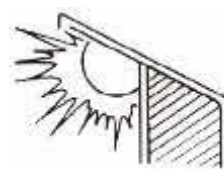
熱源を除去してください。



直射日光が場内に差し
込んでいませんか？



ブラインドなどで
直射日光をさえぎって
ください。



エアフィルターが詰まって
いませんか？



エアフィルターの清掃を
してください。



脱着・清掃要領については
本書14頁を参照ください。

空気吸い込み口、
吹き出し口を障害物で
ふさいでいませんか？



障害物を取り除いて
ください。



以上のことをお調べいただいた上で、なお異常のある場合は、操作スイッチを「切」にし、電源のスイッチを切ってから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

知って
おきたい
こと

保証とサービス

保証について

- お買い上げの1台ごとに保証書(本取扱説明書の裏表紙)が添付してあります。保証書は販売店よりお渡ししますので、所定の項目へのご記入および記載内容をご確認の上、お受け取りください。
- 保証期間は、お買い上げ日から起算して1年間です。保証内容の詳細につきましては、保証書をご参照ください。
- 保証修理を依頼される場合には、保証書が必要となりますので大切に保管してください。

アフターサービスについて

- 補修用性能部品の最低保有期間は製造打切り後7年です。当社はこの基準により補修用性能部品を調達したうえ、修理によって性能が維持できる場合は、有料で修理させていただきます。なお、補修用性能部品とは、性能維持のために必要な部品のことです。
- アフターサービスについてのお問い合わせやご相談は、お買い上げの販売店または最寄りの販売店にご相談ください。不明な場合は、下記窓口へご相談ください。

DENSO

株式会社デンソーソリューション
〒150-0046
東京都渋谷区松涛2-15-13 デンソー渋谷ビル
TEL:03-6367-3806

知って
おきたい
こと

長期使用製品安全表示

経年劣化による危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために、以下の内容を製品本体に表示しています。



【設計上の標準使用期間】 7年
設計上の標準使用期間を超えて使用されますと、経年劣化による
発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

設計上の標準使用期間とは

- 運転時間や温湿度など、以下の標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。
- 製造年は製品本体の銘板に西暦4桁で表示しています
- 設計上の標準使用期間は、保証期間とは異なります。また、一般的な故障に対して保証するものではありません。

■標準的な使用条件

環境条件	電源電圧	製品の定格電源・電圧による
	周波数	50/60Hz
	使用条件	取扱説明書の使用上の注意事項に基づく使用方法
想定時間	1年間の使用日数	100日/年
	1日の使用時間	10時間/日
	1年間の使用時間	1,000時間/年

知って
おきたい
こと

仕様

項 目		機 種	10HF-SB1	10HF-SB2	10HR-SB1	10HR-SB2
電 源 （ 相 電 圧 ）			単相 100V	三相 200V	単相 100V	三相 200V
冷房能力		kW	1.9 / 2.2			
電 気 特 性	消費電力	kW	0.710 / 0.870			
	運転電流	A	7.8 / 8.7	2.9 / 2.9	7.8 / 8.7	2.9 / 2.9
	力 率	%	91 / 99	71 / 87	91 / 99	71 / 87
	始動電流	A	35 / 32	15 / 14	35 / 32	15 / 14
圧縮機	型 式		密閉型ロータリー式			
	出 力	kW	0.50			
冷媒(R407C) 封入量		kg	0.42	0.38	0.42	0.38
蒸発器風量		m ³ /min	5.8 / 6.7		5.3 / 6.3	
外形寸法(幅×奥行×高さ)		mm	395 × 450 × 990			
質 量		kg	36			
連続運転可能範囲 (周囲温度・湿度)		℃,%RH	25 , 50 ~ 45 , 40 ※1 25 , 50 ~ 40 , 40			
自動首振り機能			無し		有り	
適応電線		mm ² , 芯	2.0 , 2	1.25 , 4	2.0 , 2	1.25 , 4
設置場所			事業所用 、 屋内			

■表中の/で表示された数値は、左側が50Hz、右側が60Hzの値です。

その他は50Hz、60Hz共通仕様です。

■性能は室内温度・相対湿度や電源電圧により変化します。

表中の性能仕様は、室内温度37℃、相対湿度60%での値を示します。

■上記値は製品改良の為、予告なく変更することがあります。

※1: 排熱ダクトを4mまで延長した場合の値です。

【MEMO】

■連続運転可能範囲でご使用ください。

連続運転可能範囲外で使用されますと、保護装置が作動し運転を停止するほか、機器の寿命を短くすることがあります。

■電源電圧は定格電圧±10%の範囲でご使用ください。

電源電圧が高過ぎたり、低過ぎる場合は、保護装置が作動し運転を停止するほか、機器の寿命を短くすることがあります。

また、電源コードを延長する場合は、電圧降下により機器の運転ができないことがあります。

知って
おきたい
こと

修理・廃棄について

■本製品を修理・廃棄するときはフロン類の回収が必要です。

本製品は第一種特定製品に該当する為、フロン排出抑制法の適用を受けます。
フロン排出抑制法の法概要は、以下株式会社デンソーソリューションのホームページに掲載しておりますのでご参照ください。

⇒ <https://www.denso-solution.com/product/furon.html>

なお、最新の情報は環境省ホームページを必ずご確認ください。

⇒ <https://www.env.go.jp/earth/furon/index.html>

フロン排出抑制法 第一種特定製品					
法にもとづくフロン類の		・みだり大気放出禁止 ・冷媒回収業者へ依頼実施 ・未回収機器の引渡禁止			
		機 種	フロン類の 種類	冷媒 番号	地球温暖化 係数
		10HF-SB1 (100V)	HFC	R407C	1770
		10HF-SB2 (200V)	HFC	R407C	1770
		10HR-SB1 (100V)	HFC	R407C	1770
		10HR-SB2 (200V)	HFC	R407C	1770
					数量 (kg)
					0.42
					0.38
					0.42
					0.38

●管理者(使用者)の皆様へ

- ・本製品使用時に異常が生じた場合は、速やかに販売店にご連絡ください。
- ・本製品を廃棄する場合は、フロン排出抑制法に基づく冷媒の回収・運搬・破壊が義務付けられていますので、販売店にご相談ください。
- ・本製品を破壊する際にフロン類を回収しない違反には罰金が科せられます。
- ・フロン類の回収が証明できない機器は引き取ってもらえません。
- ・本製品はフロン排出抑制法で簡易点検が義務付けられています。簡易点検記録簿については、以下株式会社デンソーソリューションのホームページに掲載しておりますのでご活用ください。

⇒ <https://www.denso-solution.com/product/furon.html>

●修理工事業者へのお願い

- ・本製品の修理に際して冷媒を回収する場合は、フロン排出抑制法の基準に従ってください。
- ・本製品の修理に際して冷媒数量の変更は行わないでください。

●第一種フロン類回収業者へのお願い

- ・フロン排出抑制法の回収基準を遵守して確実に回収してください。

■産業廃棄物の削減のため、リサイクルにご協力ください。

- ・本製品はドライバー等の簡単な工具を使って分解することで、リサイクル可能な部材を分離することができます。

廃棄時にはリサイクル可能な部材を、できるだけ分別してください。

【本製品に使われている主な材質】

分類	材質	使用部位	分類	材質	使用部位
樹脂	PP	天板(真鍮溶着あり)・ ドレーンパン・ダクト・フィルタ・ シロッコファン (アルミインサートあり)・ ベースフレーム(真鍮溶着あり)	金属	鉄	外板パネル ネジ類
				銅	配管
	PA	グロメット類	混合材	銅・鉄	コンプレッサー・モーター
	PE	ドレーンタンク		銅・アルミ	熱交換器
	発泡AS	ケーシング		銅・塩ビ	電線類
				銅・プラスチック	スイッチ・リレーなど

■お問い合わせは販売店にご連絡ください。

【MEMO】

(必ずお読みください)

INSPAC 保証書

- 保証の発行
お買い上げいただいた販売店が、本保証書の下記項目に必要な事項を記入、捺印することにより有効となります。
- 保証内容
製品を構成する各部品に、設計上または、材料上に起因する故障が発生した場合は、これを無料修理いたします。
(以下、これを保証修理という)保証修理は、部品の交換あるいは、補修により行います。
- 保証期間
お買い上げ日から起算して、1年間といたします。
- 保証修理の受け方
保証期間中に故障が発生した時には、本書と商品をご持参のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
- 適用除外項目
 - つぎに示す損傷または故障は、保証期間中であっても保証対象外となります。
 - 本取扱説明書の内容と異なる取扱い・使用方法に起因して故障した場合。
 - 製品の機能に影響する改造が加えられ、あるいは、当社の指定しない部品が使用され、これに起因して発生した故障の場合。
 - 火災、塩害、ガス害、地震、風水害、異常電圧、その他の天変地異による事故により発生した故障の場合。
 - 腐食環境下における使用による不具合の場合。
 - お買い上げ後に移動あるいは輸送することによって生じた損傷または故障の場合。
 - 点検・調整・清掃費用。
 - 消耗部品(パイロットランプ、エアフィルターなど)。
 - 保証書のご提示がない場合、または保証書の所定事項が未記入、あるいは字句を修正された場合は、保証期間中であっても保証対象外となります。
- 保証の適用
この保証書は日本国内においてのみ有効です。(This warranty is valid only in JAPAN)
- その他
この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて、無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

株式会社デンソー

〒448-8661 愛知県刈谷市昭和町1丁目1番地

保 証 書

お客様	おなまえ	様		TEL ()
	おところ			
製品型式		製造番号		
販売店名 住所・TEL		お買い上げ 年 月 日		年 月 日
印		保証満了日		年 月 日
修理メモ				

484007-4952